

## 第2回富士見市男女共同参画社会確立協議会会議録

- 日 時 平成24年8月31日（金）10:00～12:00
- 場 所 市長公室
- 出席者 〈委員〉横田会長、吉川副会長、長ヶ原委員、奥住委員  
松尾委員、神保委員、岡本委員、加光委員、金子委員  
長谷川委員 嶋委員（12名中11名出席）  
〈専門委員〉瀬山専門委員  
〈事務局〉谷口、小林  
※傍聴人なし
- 開 会 横田会長
- 報 告
- ・男女共同参画週間について  
中央図書館と共催で図書館所蔵の男女共同参画関係の図書を集めた「男女共同参画」コーナーとして中央図書館内にテーマ展示をした。一定の効果が得られたため、来年度に生かしていくこととした。
  - ・男女共同参画講演会について  
9月29日（土）午後2時より、推進会議と共催で行う男女共同参画講演会について報告した。チラシについては知人等を誘っていただけるようお願いした。水谷婦人会については、全体会議等で配っていただけることとなり、100部渡している。
- 協 議
- (1) 各課の平成23年度進捗状況について  
平成23年度各課進捗状況を施策の方向ごとに報告した。  
前回、基本目標1と2の次に基本目標3の【主要課題7】の順で協議したため今回の会議では引き続き進めていった。
- ◇ プランナンバーごとの意見
- ナンバー96  
専門員) 男女共同参画に関する情報を集めることができる常設のコーナーが必要である。ふじみ野市や鶴ヶ島市では既存の施設を利用して常設コーナーを設置している。必要なのは人の交流の場としての男女共同参画コーナーである。  
ナンバー27～  
委員) 企業との対話が難しい。また、企業も含めて対話していかなければならない。厳しい経済状況の中で、企業側の本音としては育児休暇等を取らせることが難しいなどと、新聞などで話題になっている。

ナンバー 46～

委員) 就学時検診は入学前に親が集まる唯一の機会である。また、親の側のマナーにも問題が見られる。親の中には、子育てが難しくなると相談に来る人もいる。いじめ問題などは、家庭教育の重要性も考えなければならぬ。

市が事業を実施しても参加しない親も多い。民生委員なども、学校との連携ならば取れるが、個人情報保護の観点からも家庭に入っていくことは難しい。子どもは楽しいイベントが好きのため、市だけではなく、学校が地域で人々が交流する場を提供することも大切である。

ナンバー 62

地域密着型の老人施設ができています。老人施設には毎月高額な費用が必要である。介護者の肉体的負担は減ったが費用はかさんでいる。

ナンバー 68

委員) 性教育については、保健や道徳の授業で学べるように指導している。

ナンバー 70

薬物防止教室などを行っている。非行と薬物には切っても切り離せない関連がある。その防止のためにも、保健室に来た生徒などには、養護教諭が声をかけるなどしている。

ナンバー 72

委員) 増進センターについては何か少しでも関連事業を行っていないのか確認して欲しい。

事務局) 確認する。

ナンバー 74

委員) 子ども 110 番 (三角旗) については、活用はいまのところあまりない。旗を設置することについては協力者のご負担もあるが、抑止力としては効果がある。

ナンバー 75～

委員) 知人などに声を掛け合って検診等に行くようにお互い声を掛け合っている。知人に進められていくということもある。

ナンバー 84～

委員) 差別を受けたことはあまりなく、教育の場では比較的男女の区別なく教育が受けられていると感じている。また、DV については、DV が知られてきたため、ちょっとしたことでも DV とするような風潮も見られるのではないかと。

委員) また、相談事業については実人数と客観的な相談内容の傾向の変化などが記載されているとわかりやすい。

(3) 平成 23 年度年次報告書 (案) について

事務局より説明。この体裁で各課進捗状況をまとめることを報告し了承

された。

- (4) 5段階の評価については、各課の評価に基づき23年度においては掲載することを報告し了承された。

評価指標の一覧についても、基本的施策の内容を掲載することで、市民にわかりやすい表とすることを報告し了承された。

○次回会議 平成24年10月9日(火)午後13:30～  
(会場:市長公室)

○資料

- ・次第
- ・進捗状況の訂正一覧
- ・評価指標一覧
- ・平成23年度「富士見市男女共同参画プラン(第3次)」実施状況
- ・平成23年度男女共同参画の推進に関する年次報告書(案)

○閉会 吉川副会長